No. 8
平成１８年８月１８日
米 づ く り 編

営 農 情 報

一等米生産には水管理の徹底を!!

～もち混入･うるち混入は実需者から嫌われます。コンバイン･乾燥機･もみ摺り機等の掃除はていねいに行いましょう～

７月後半の低温等により、コシヒカリの出穂期は平年に比べ４～５日程度遅れています。
用水の効率的な利用により登熟期の水管理を的確に行い、米の品質を確保しましょう。
特に穂肥施用が少なく葉色の淡い稲では、水管理により稲の活力低下を防止しましょう。

水管理　～水管理が悪いと、乳心白粒等の発生により品質が低下します～

1　浅水の間断かん水又は飽水管理を続け、完全落水は出穂期後25日以降としましょう。(暗渠は閉じてますか？)
　(出穂後２５日が用水の利水期間を超える場合は、それまでにできるだけ土壌水分を保つ管理を実施する。)
2　台風や過高温･フェーン現象が予想される場合は、速やかにかん水し、稲の障害を防止します。
3　高温状態が続く場合は、長期湛水は避け、可能な範囲でこまめに水を更新します。

収　穫　～今年はほ場による出穂期のバラツキが大きいので、ほ場をよく観察して刈り取りを行う。～

1　もち混入やうるち混入がないように、刈取りまでに異品種が残っていないか、ほ場をよく確認します。
2　ほ場全体の籾の９０％が黄化し、一穂の基部に緑色籾が一部残っている頃が刈取り適期です。
3　収穫後の生籾は速やかに通風し、ヤケ米を防止します。

刈取り適期の目安

品種名	出穂期	刈取り適期の目安	積算気温(℃)	出穂期後日数
わたぼうし	7月27日頃	9月 3日頃	975	38日
ゆきん子舞	7月27日頃	9月 3日頃	975	38日
こしいぶき	8月 1日頃	9月 9日頃	975	39日
ひとめぼれ	8月 2日頃	9月10日頃	975	39日
ゆきの精	8月 2日頃	9月10日頃	975	39日
こがねもち	8月 4日頃	9月13日頃	1000	40日
コシヒカリ				
(5/ 5植)	8月 8日頃	9月19日頃	1000	42日
(5/10植)	**8月10日頃**	**9月22日頃**	**1000**	**43日**
直播こしいぶき	8月 7日頃	9月17日頃	975	41日
直播コシヒカリ	8月16日頃	9月29日頃	1000	44日

出穂期は、ほ場及び地域でバラつきがあるので注意しましょう。

最終的な刈取適期は、ほ場全体の籾の黄化状況で判断しましょう。

乾　燥　～張り込み時の籾水分に注意し、『胴割れ米』の発生を防止しましょう。～

1　乾燥機の取扱説明書に従った、適正な操作で乾燥しましょう。
2　フェーン時に収穫した場合、日中は常温で通風乾燥とし、点火後も乾燥速度を低めにします(「ゆっくり」設定など)。
3　玄米水分は、15.０%に仕上げます。**手持ちの水分計で必ず確認してください。**

籾すり・米選　～毎年籾混で格落ちが発生しています。ていねいな作業で一等米に仕上げましょう。～

1　籾すりは、籾温度が常温になってから行います。ゴムロール間隔は、脱ぷ率80～85%に調節します。
2　仕上がり玄米を見て、籾混入が無いことを確認してください。
3　ふるい目は、1.85㎜以上(うるち)を使用してください(米品質が劣る場合には、1.9㎜のふるい目を検討しましょう)。
4　**選別精度を上げるため、米選機への流量を多くしすぎないように注意してください。**
5　もち混入やうるち混入が発生しないよう、乾燥機･もみすり機等の清掃は必ず行いましょう。

農薬を使用するときは、周辺作物へ飛散しないよう十分注意しましょう！

嵐南地域営農情報編集委員会